



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日

上場会社名 DOWAホールディングス株式会社 上場取引所 東・名・札・福
 コード番号 5714 URL https://www.dowa.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関口 明
 問合せ先責任者 (役職名) 企画・広報部門部長 (氏名) 細野 浩之 (TEL) 03-6847-1106
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	352,747	4.9	17,601	37.8	20,438	20.6	13,487	26.2
2019年3月期第3四半期	336,363	△0.7	12,771	△45.2	16,946	△38.9	10,687	△44.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 15,688百万円(297.5%) 2019年3月期第3四半期 3,946百万円(△82.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	227.88	—
2019年3月期第3四半期	180.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	511,797	255,645	48.0
2019年3月期	494,683	246,158	48.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 245,579百万円 2019年3月期 237,214百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	90.00	90.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	480,000	6.0	24,500	31.2	30,000	23.4	20,000	33.5	337.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	61,989,206株	2019年3月期	61,989,206株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,804,659株	2019年3月期	2,804,431株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	59,184,721株	2019年3月期3Q	59,185,082株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの事業環境については、自動車関連製品は世界的な自動車生産台数の減少により需要が低迷しました。情報通信関連製品はスマートフォン向け需要の一部で回復の兆しが見られました。新エネルギー関連製品は中国市場向けの需要回復が継続しました。相場環境については、為替は年末にかけて緩やかな円安基調が継続しました。金属価格は不透明感が高まる国際情勢を背景に、金や銀などの貴金属は上昇し、亜鉛や銅などのベースメタルは下落するという状況が継続しました。

このような状況の中、当社グループは「中期計画2020」（2018年度～2020年度）の基本方針である「成長市場における事業拡大」、「既存ビジネスでの競争力強化」に基づき、企業価値向上への施策を着実に進めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比4.9%増の352,747百万円、営業利益は同37.8%増の17,601百万円、経常利益は同20.6%増の20,438百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同26.2%増の13,487百万円となりました。

主要セグメントの経営成績は次のとおりです。なお、表中の「前第3四半期連結累計期間」は2018年4月1日から2018年12月31日まで、「当第3四半期連結累計期間」は2019年4月1日から2019年12月31日までです。

環境・リサイクル部門

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減	増減率
売上高	76,569	81,792	5,223	6.8%
営業利益	4,442	5,090	648	14.6%
経常利益	4,930	5,033	103	2.1%

廃棄物処理事業は、廃棄物の焼却処理量及び溶融・再資源化の処理量がともに増加しました。土壌浄化事業は、処理量は増加したものの利益は減少しました。リサイクル事業は、リサイクル原料の集荷が拡大するとともに家電リサイクルの処理量が増加しました。海外事業は、東南アジアにおいて廃棄物処理の売上高が減少しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比6.8%増の81,792百万円、営業利益は同14.6%増の5,090百万円、経常利益は持分法適用会社が減益となったことなどにより同2.1%増の5,033百万円となりました。

製錬部門

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減	増減率
売上高	164,137	164,667	530	0.3%
営業利益	△1,459	6,072	7,531	—
経常利益	1,522	8,254	6,732	442.3%

貴金属銅事業は、銅の生産量は前年同期並みとなりましたが、すずの生産量は減少しました。PGM（白金族）事業は、使用済み自動車排ガス浄化触媒からの金属回収量が増加しました。亜鉛事業は、亜鉛及びインジウムの国際価格下落や電力単価上昇の影響を受けたものの、亜鉛のたな卸資産の簿価切下額による損失幅は縮小しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比0.3%増の164,667百万円、営業利益は同7,531百万円増の6,072百万円、経常利益は持分法適用会社が減益となったことなどにより同442.3%増の8,254百万円となりました。

電子材料部門

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減	増減率
売上高	50,318	70,720	20,402	40.5%
営業利益	1,905	945	△959	△50.4%
経常利益	2,677	1,880	△797	△29.8%

半導体事業は、スマートフォン向けLEDの需要が低調に推移しました。電子材料事業は、太陽光パネル向け銀粉の中国市場向けの需要回復が継続しました。機能材料事業は、顧客での在庫調整によりアーカイブ用データテープ向け磁性粉の需要が減少しました。新規製品については、導電性アトマイズ粉や半導体接合材料などの特性向上と量産化に注力し、研究開発費が増加しました。

これらの結果に加え、銀地金代を含む銀粉の取引が増加したことなどにより、当部門の売上高は前年同期比40.5%増の70,720百万円となりました。営業利益は同50.4%減の945百万円、経常利益は同29.8%減の1,880百万円となりました。

金属加工部門

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減	増減率
売上高	69,385	61,851	△7,533	△10.9%
営業利益	5,044	3,670	△1,373	△27.2%
経常利益	5,172	3,737	△1,435	△27.7%

伸銅品事業は、自動車向けは需要後退が継続したものの、スマートフォン向け需要は回復の動きが見られました。めっき事業は、自動車の電装化に伴う需要を取り込みました。回路基板事業は、産業機械向けの需要は減少したものの、鉄道向けや自動車向けへの拡販を進めました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比10.9%減の61,851百万円、営業利益は同27.2%減の3,670百万円、経常利益は同27.7%減の3,737百万円となりました。

熱処理部門

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減	増減率
売上高	21,654	20,992	△661	△3.1%
営業利益	1,990	972	△1,017	△51.1%
経常利益	2,106	942	△1,164	△55.3%

熱処理事業は、世界的に自動車生産台数が減少した影響を受け、国内外の拠点における受託加工数量が減少しました。また、設備増強に伴って減価償却費が増加しました。工業炉事業は、新規設備の受注が軟調に推移し、設備メンテナンスの受注が減少しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比3.1%減の20,992百万円、営業利益は同51.1%減の972百万円、経常利益は同55.3%減の942百万円となりました。

その他部門

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減	増減率
売上高	7,920	8,572	652	8.2%
営業利益	419	472	53	12.7%
経常利益	447	545	97	21.7%

その他部門では、売上高は前年同期比8.2%増の8,572百万円、営業利益は同12.7%増の472百万円、経常利益は同21.7%増の545百万円となりました。

(注)当該項目に記載の売上高には消費税等を含めていません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して17,114百万円増加し511,797百万円となりました。流動資産で2,871百万円の増加、固定資産で14,242百万円の増加となります。

流動資産の増加は、現金及び預金が4,291百万円、たな卸資産が3,916百万円、流動資産その他が1,169百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が6,513百万円減少したことなどによるものです。固定資産の増加は、有形固定資産が16,911百万円、長期貸付金が1,004百万円増加した一方で、投資その他の資産その他が2,035百万円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して7,627百万円増加しました。これは、流動負債その他が9,335百万円、短期借入金が3,475百万円、長期借入金が3,342百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が9,037百万円減少したことなどによるものです。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益が13,487百万円となり、配当金の支払いなどを行った結果、株主資本が7,278百万円増加しました。また、繰延ヘッジ損益の増加などにより、その他の包括利益累計額が1,087百万円増加した結果、純資産合計は前連結会計年度末と比較して9,487百万円増加しました。この結果、自己資本比率は48.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在のところ業績が想定した範囲内で推移しているため、2019年11月6日に公表した通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,118	24,409
受取手形及び売掛金	84,399	77,885
商品及び製品	29,461	30,131
仕掛品	5,769	7,120
原材料及び貯蔵品	84,696	86,592
その他	13,708	14,878
貸倒引当金	△147	△139
流動資産合計	238,007	240,878
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	126,589	130,888
減価償却累計額	△71,514	△74,423
建物及び構築物(純額)	55,074	56,464
機械装置及び運搬具	250,856	258,762
減価償却累計額	△208,408	△215,327
機械装置及び運搬具(純額)	42,448	43,434
土地	24,977	27,997
建設仮勘定	8,183	19,627
その他	17,459	18,360
減価償却累計額	△13,778	△14,608
その他(純額)	3,681	3,752
有形固定資産合計	134,365	151,277
無形固定資産		
のれん	4,620	4,208
その他	3,094	3,137
無形固定資産合計	7,714	7,345
投資その他の資産		
投資有価証券	68,158	67,653
長期貸付金	33,098	34,102
繰延税金資産	7,689	6,926
その他	5,741	3,705
貸倒引当金	△91	△91
投資その他の資産合計	114,595	112,296
固定資産合計	256,675	270,918
資産合計	494,683	511,797

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,449	34,412
短期借入金	36,885	40,361
コマーシャル・ペーパー	29,000	27,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	2,135	3,756
未払消費税等	996	2,320
引当金		
賞与引当金	4,110	2,077
役員賞与引当金	249	134
引当金計	4,359	2,211
その他	36,629	45,965
流動負債合計	163,456	156,026
固定負債		
社債	10,000	20,000
長期借入金	49,355	52,698
繰延税金負債	2,064	2,246
引当金		
役員退職慰労引当金	621	701
その他の引当金	414	384
引当金計	1,035	1,085
退職給付に係る負債	17,967	18,588
その他	4,644	5,507
固定負債合計	85,067	100,125
負債合計	248,524	256,151
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,437	36,437
資本剰余金	26,044	25,928
利益剰余金	173,624	181,018
自己株式	△5,710	△5,710
株主資本合計	230,395	237,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,992	10,062
繰延ヘッジ損益	△2,787	△1,384
為替換算調整勘定	△27	△553
退職給付に係る調整累計額	△360	△219
その他の包括利益累計額合計	6,818	7,905
非支配株主持分	8,944	10,065
純資産合計	246,158	255,645
負債純資産合計	494,683	511,797

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	336,363	352,747
売上原価	295,341	307,258
売上総利益	41,021	45,488
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	3,453	3,051
販売手数料	396	365
役員報酬	1,102	1,095
給料及び手当	5,438	5,383
福利厚生費	1,591	1,658
賞与引当金繰入額	449	470
退職給付費用	484	567
役員退職慰労引当金繰入額	143	135
賃借料	688	732
租税公課	1,040	1,023
旅費及び交通費	1,225	1,207
減価償却費	1,112	836
開発研究費	4,524	4,571
のれん償却額	387	364
その他	6,209	6,423
販売費及び一般管理費合計	28,249	27,887
営業利益	12,771	17,601
営業外収益		
受取利息	875	1,495
受取配当金	815	801
持分法による投資利益	1,322	131
受取手数料	582	666
受取ロイヤリティー	1,121	789
その他	1,425	1,485
営業外収益合計	6,141	5,370
営業外費用		
支払利息	648	1,014
為替差損	0	471
支払手数料	238	—
環境対策費	407	438
その他	671	609
営業外費用合計	1,966	2,533
経常利益	16,946	20,438

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
特別利益		
投資有価証券売却益	127	1,554
受取保険金	90	239
固定資産売却益	136	124
補助金収入	161	—
その他	16	41
特別利益合計	532	1,960
特別損失		
固定資産除却損	666	502
災害による損失	—	141
減損損失	116	3
和解金	203	—
その他	166	83
特別損失合計	1,154	729
税金等調整前四半期純利益	16,325	21,668
法人税等	5,693	7,051
四半期純利益	10,632	14,616
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△55	1,129
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,687	13,487

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	10,632	14,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,872	78
繰延ヘッジ損益	△1,474	1,407
為替換算調整勘定	△1,562	△354
退職給付に係る調整額	127	133
持分法適用会社に対する持分相当額	95	△192
その他の包括利益合計	△6,685	1,071
四半期包括利益	3,946	15,688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,082	14,574
非支配株主に係る四半期包括利益	△136	1,113

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び国内連結子会社の税金費用については、年度決算と同様の方法による税金費用の計算における簡便的な方法により計算していましたが、各四半期に対応した税金費用を計上するとともに、四半期決算業務の一層の効率化を図るための決算業務の見直しを契機として、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しています。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っていません。また、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	環境・リ サイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	47,021	148,999	48,610	69,322	21,653	335,608	754	336,363	—	336,363
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	29,547	15,137	1,707	62	0	46,455	7,165	53,620	△53,620	—
計	76,569	164,137	50,318	69,385	21,654	382,064	7,920	389,984	△53,620	336,363
セグメント利益	4,930	1,522	2,677	5,172	2,106	16,408	447	16,856	90	16,946

- (注) 1 「その他」の区分は、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務など、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にグループ間取引を含んでいません。
- 2 セグメント利益の調整額90百万円には、セグメント間取引消去額158百万円及び未実現利益の調整額△68百万円が含まれています。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	環境・リ サイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	49,198	150,953	68,798	61,811	20,991	351,753	994	352,747	—	352,747
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	32,594	13,713	1,922	40	1	48,272	7,578	55,850	△55,850	—
計	81,792	164,667	70,720	61,851	20,992	400,025	8,572	408,598	△55,850	352,747
セグメント利益	5,033	8,254	1,880	3,737	942	19,847	545	20,392	46	20,438

- (注) 1 「その他」の区分は、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務など、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にグループ間取引を含んでいません。
- 2 セグメント利益の調整額46百万円には、各報告セグメントに配分していない営業外損益212百万円(受取配当金、持分法投資損益及び支払利息等)、未実現利益の調整額△142百万円が含まれています。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。